
SA協議会

2015年度 東京スキルアップミーティング

(2015年8月28日開催)

報告

SA協議会

2015-9-15

WG;大賀、藤井、吉川、西山、
大野、津野、外山

スキルアップミーティング(以後,SUM)報告項目

1. 概略計画(WGメンバーにて計画運営を実施)

東京会場

2. SUM参加者

3. 当日の内容報告

東京会場

4. 参加者アンケート結果

5. その他(懇親会)

* 講演資料は別PDFファイルを参照

(ファイルは、会員専用ページ「スキルアップミーティング」を参照)

1. SUM概略計画(東京会場)

開催概要【東京会場】

- 開催日時：平成27年8月28日(金) 13時00分～17時15分
- 開催内容：講演とグループディスカッション
- 開催場所：明治大学駿河台キャンパス紫紺館3階会議室
- 定員：50名様
- 参加費：無料
- 懇親会費：4,500円(予定) ※懇親会へのご参加は任意です。
- 申込締切日：平成27年8月4日(月)着

【プログラム】

受付:12:20 開始

開会:13:00

終了:17:15 頃予定

懇親会:17:45～19:30

【開催内容】

・会長挨拶及び基調講演

「労働安全マネジメントシステムの動向」ISO45001 規格動向
向殿 政男 明治大学名誉教授

・講演

「労働安全衛生マネジメントシステムの概要」
講師：中央労働災害防止協会マネジメント審査センター専門役 高岡 弘幸 氏

・グループディスカッション

テーマ「事故から考えるースピニングコースタ舞姫転落事故」

・情報提供

2. 参加者結果

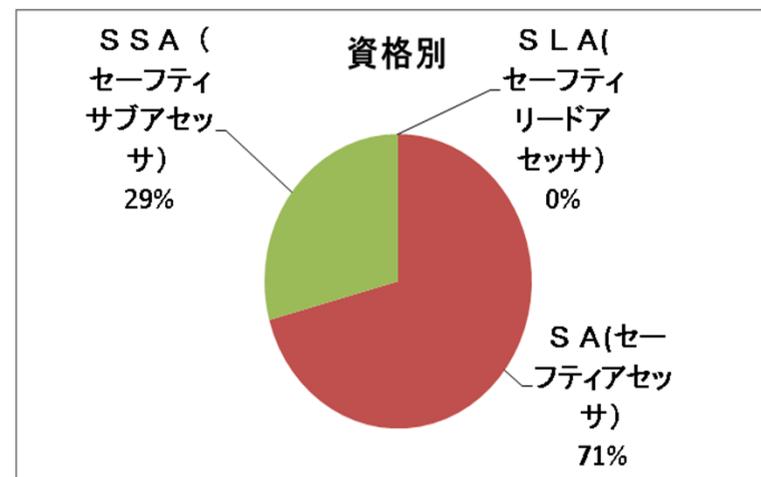
参加希望者

東京 76名 (WG除く)

当日参加者

東京 66名 + WG 7名 (会長+講演者)

(懇親会参加者 18名)



参加者のSA資格別内訳別



会場満席の
参加者

3. 内容報告

東京会場

【プログラム】 13:00～17:15 司会;大野氏

●13:00 会長挨拶及び基調講演「労働安全マネジメントシステムの動向」

ISO45001 規格動向

向殿 政男 明治大学名誉教授(SA協議会会長)

●13:30 講演

タイトル「労働安全衛生マネジメントシステムの概要」

講師:中央労働災害防止協会マネジメント審査センター専門役 高岡 弘幸 氏

●15:15 グループディスカッション、発表、講評

テーマ「事故から考えるースピニングコースタ舞姫転落事故」

進行役;大賀氏

● 17:00 情報提供 日本認証から

・SAの海外展開(タイ) ・能力基準の国際標準化 ・SA協議会HP

● 17:15 閉会、終了

【懇親会】

場所;「咲くら」御茶ノ水店時間;17:45～19:30

3. 内容報告

(1) 挨拶及び基調講演 SA 協議会会長 明治大学名誉教授 向殿 政男先生

● 本ミーティングも回を重ねるごとに参加者も増加してきている。参加した皆さんがこの場を活用してスキルアップしてください、との期待と激励の挨拶があった。また、ボランティア的に運営を実施しているWGの皆さんにお礼を述べたいと思います、との感謝の挨拶もあった。

●ご講演「労働安全マネジメントシステムの動向－ISO45001 規格動向」の講演で以下のポイントのプレゼンがあった。

- ・労働安全衛生マネジメントシステムについて
- ・これまでの労働安全衛生マネジメントシステム規格・指針の動向
- ・OSHMAとISO45001 ・ISO/ PC283の動向 ・審議中の課題と論争点
- ・わが国の今後の目指すべき方向

(講演資料は、SA協議会会員ページに掲示予定)



3. 内容報告

(2) 講演 「労働安全衛生マネジメントシステムの概要」

講師：中央労働災害防止協会マネジメント審査センター専門役 高岡 弘幸 氏

高岡氏より以下の講演があった。

(講演資料は、SA協議会会員ページに掲示予定)

1. 各種マネジメントシステムの概要
システム他

－ 品質・環境・労働安全衛生マネジメント

2. OHSAS18001・ILO・厚労省指針・ISO45001

－ 各種OHSMS規格とその違い

3. 日本の法律では・・・

4. OHSMS認証の実際

－ 認証取得と災害の減少

－ A社の取組の紹介

－ 認証後の効果と課題

－ ISO45001と今後のOHSMS



3. 内容報告

(3) グループディスカッション(GD)

テーマ「事故から考えるスピニングコースタ舞姫転落事故」とし、ディスカッションを実施した。

冒頭、大賀氏より「事故の概要」とディスカッションの説明とGDの進め方を説明した。

各グループを3名～4名の少人数構成で実施した。

◆討議事項

- ① 事故の原因、問題点、再発防止/未然防止策
- ② セーフティアセッサの役割、倫理



①事故原因分析と対応策シート

事故原因	対応策 (リスク低減策)

②セーフティアセッサの役割、倫理シート

セーフティアセッサの役割

SA協議会の倫理規定 (作成するとして)に含めるべき事項

3. 内容報告

(3) グループディスカッション



真剣にグループ討議が展開された。
グループは、3人～4人で17グループ構成。

3. 内容報告

(3) 結果発表(各グループ 代表グループ)



左上;
事故のジェットコースターを作成し、それを使用してディスカッションした内容を報告

右上;
3Dプリンタ等を使用して試作したジェットコースターのモデル

左下:
SAの役割と倫理についての発表

3. 内容報告

(4) 会長より主な提議と講評があった

- ・労働安全や機械安全における意識改革において、我々の役割が何なのか、プロフェッショナルとして安全知識をしっかりと持つことが大事である。
- ・安全の技術者についての技術者倫理についてまとめたものがある。

1. 安全の常識を知っていること

機械設備は必ず劣化し、使えなくなる、人間はいつか間違える、規則ルールは、大体穴だらけで、充分尽くしていない、

絶対安全とかリスクゼロなんかはあり得ない、常にリスクがあってディメリットを考えて、災害が起きない様努力することが安全技術者の役割である。

2. 安全学を知っていること

技術だけでは安全を実現できなくて、その上に人間、ヒューマンファクター、それを管理し組織していく社会科学的なこと、社会科学、人文科学、自然科学、それらを総合的にものを考えてやらないと安全は実現しないということを実感していくということである。

企業の中での安全技術者の役割があって、その上に管理者や企業トップの役割があって倫理がある。

だから技術者倫理の前に企業者倫理(トップの倫理)があると思う。階層的な大枠を考えておく必要がある。

3. Guide51をマスターすること

安全とは何なのか、リスクアセスメントは何なのか、安全の3ステップメソッドは、どういう考え方なのか、最低限の安全知識は必要で、それに自分の分野の安全の知見とちゃんと持っていること、そして常に新しい情報を収集(安全基準も変わる、技術も変わる、社会も変わる、社会が求める安全レベルも変わる、リスクレベルも常に変わる)し、自己研鑽をすることが必要である。

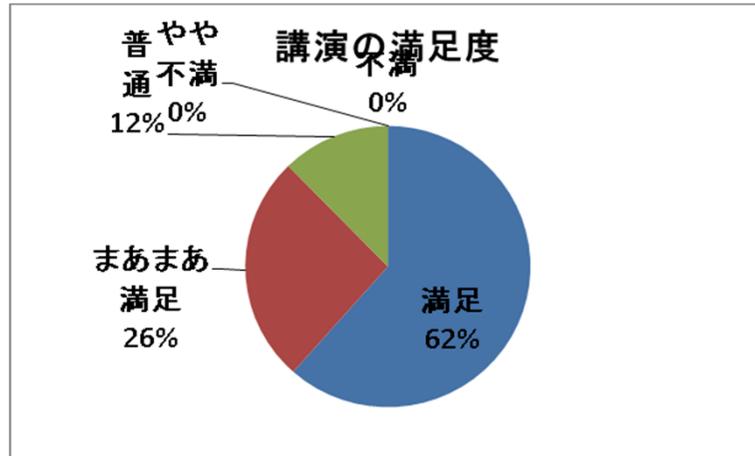
SA協議会の様に常に学び、対応していくことが、安全技術者の倫理だと考える。

GD結果の発表に対して向殿
会長から講評をいただいた。

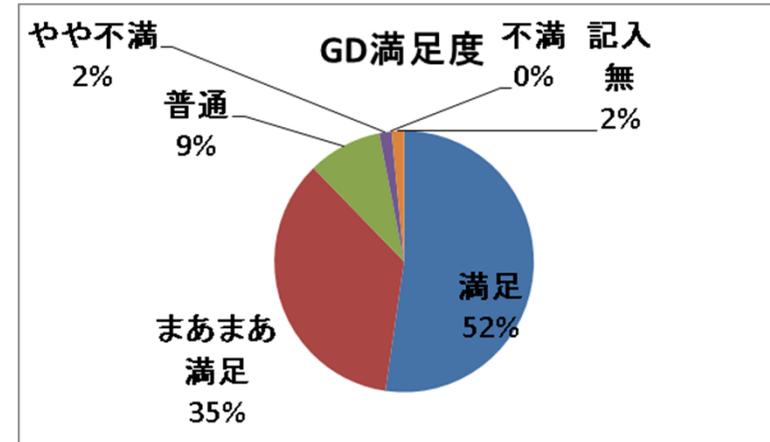


4. アンケート結果(47名から回収)

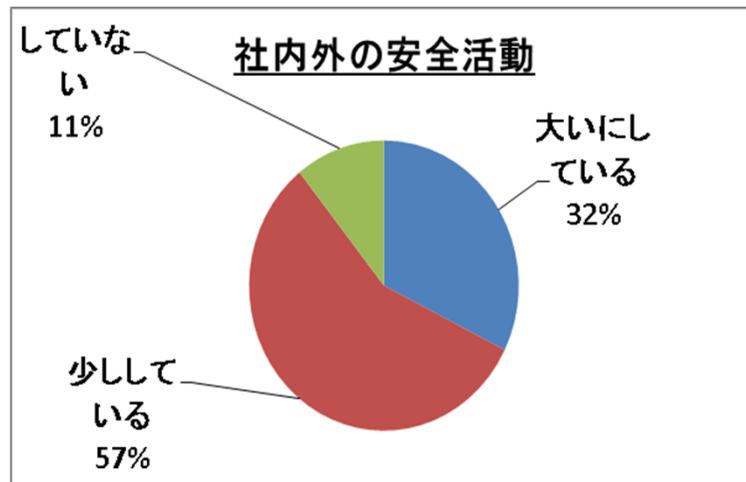
① 本日の講演についての感想は



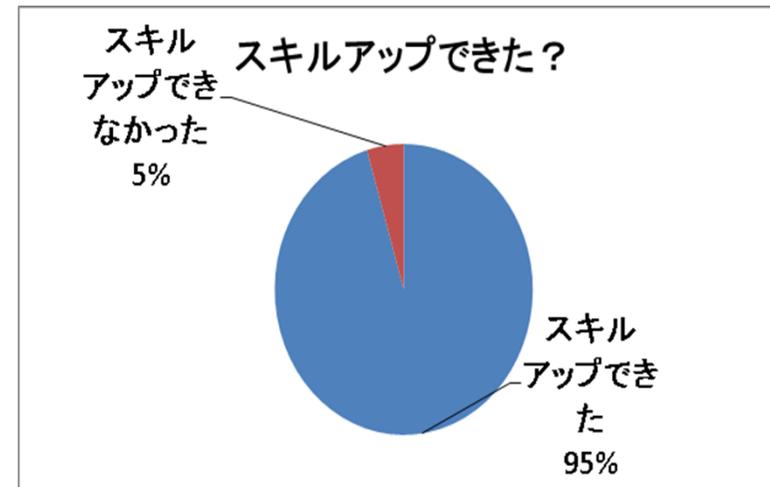
② 本日のグループ/討議についての感想は



③ 社内外での安全活動



④ 参加してスキルアップできましたか?



5. 纏め

今回も大変に有意義なミーティングとなった。(前回よりも多くの方が参加した)

- ・ スキルアップミーティングの題材として、必ずしも、「機械安全」にとらわれなくとも、参加された方は、有意義な情報の入手と会員同士のディスカッションでスキルアップを語る事が出来たと実感していただいた。
 - － 今回の講演は、「労働安全マネジメント」「遊戯施設の事故」
- ・ グループディスカッションでは、(株)アルバックの吉瀬様が、3Dプリンタと粘土等を使用して事故のコースター模型を作成していただきました。ディスカッションの報告もそのために大変に理解することが出来、安全の議論を進めることが出来た。吉瀬様に感謝いたします。
 - － 3Dプリンタの活用は、リスクアセスメントを実施する上でのツールとして期待できる。(特に安全距離、関係者の動作等の議論に活用可能と思われる)
- ・ 今回は、紫紺館のキャパギリギリまでの参加であった。申し込みは、定員以上となり、参加をお断りした方もおり次回からの開催について検討課題となった。
 - － 人数制限
 - － 開催回数を増やす 等

5. その他

向殿先生を囲んでの交流会

最後に、向殿先生を囲んでの楽しい懇親会を実施しました。参加者18名。

他社の方と安全の土俵で交流することにより、種々の安全に対する考え方、見方をリフレッシュすることができた、次回もぜひ参加したいとの多くの感想が寄せられた。

